様式1

　　年　　月　　日

(公社)日本作業環境測定協会

会　長　　清水　英佑　宛

**認定オキュペイショナルハイジニスト更新申請書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| N a m e | 生年月日 | 　　　年　　　月　　　日 |
| 認定番号： | 日測協会員番号： |
| 自宅 | 住　所 | 〶 |
| 電話番号 |  |
| 勤務先 | 名称 |  |
| 所属、職位 |  |
| 住　所 | 〶 |
| 電話番号 |  | FAX番号 |  |
| 添付書類（1）様式２　更新申請資格証明書（2）別紙Ⅰ～Ⅵ（該当部分のみ）（3）各種証明書注）上記氏名欄には、必ず日本語表記及びローマ字表記の両方を記載して下さい。 | ※日測協欄 |
|  |

様式2　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者氏名：

**更新申請資格証明書**

評点一覧表

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| カテゴリー | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅵ | 合計 |
| 評点 | 点 | 点 | 点 | 点 | 点 | 点 | 点 |
| 証明書類(提出するものに○) | 別紙Ⅰ | 別紙Ⅱ | 別紙Ⅲ | 別紙Ⅳ | 別紙Ⅴ | 別紙Ⅵ |  |

※別紙Ⅰ～Ⅵの該当部分に記入し、各種証明書を添付してください。

※別紙Ⅰは証明印を押印した原本を提出してください。

認定オキュペイショナルハイジニスト規程（抄）

６．認定資格の更新

4） 更新を受けるためには、認定証の有効期間（認定証の交付日から５年以内）に下記の基準による評点の合計が100点以上とならなければならない。

評点基準

評点基準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| カテゴリー | 内容 | 評点 | 評点取得の必須または上限の条件について |
| Ⅰ | オキュペイショナルハイジーン（労働衛生）分野における活動（フルタイムを基本とするa）） | 10/年（フルタイム）～ | 50(上限) |
| Ⅱ | 認定委員会が認定する講習等の技術研修の受講、あるいは認定委員会が認定する学会等の学術集会への参加b) | 0.5/時間 | 30～(30点取得は必須・取得上限はなし) |
| Ⅲ | 認定委員会が認定する学術雑誌等c)への論文の掲載 | 査読付筆頭著者：４/編、査読付共著者：２/編、査読無著者：１/編 | 50(取得上限) |
| Ⅳ | 認定委員会が認定する学会等の学術集会d)における口頭発表 | 口頭発表：２/件 | 20(取得上限) |
| Ⅴ | 認定委員会が認定する講習・学術集会等における講師e)　(社内教育における講師は除く)f) | １/時間 | 20(取得上限) |
| Ⅵ | 認定ハイジニストに関する委員会への参画 | １/年 | 20(取得上限) |

a)カテゴリーⅠの活動がフルタイムでない場合、その活動時間をフルタイムに換算して評点とする。（たとえば、活動時間が半日程度であれば５/年。）

b)　カテゴリーⅡの評点にかかわる技術研修や学会等への参加

|  |  |
| --- | --- |
| 技術研修（実施主体） | 評点の対象として選定する理由 |
| ブラッシュアップ講習（日測協） | 作業環境測定士を対象に、技術、法令等の変化にキャッチアップすることを目的として行う研修。特別講演、パネルデイスカッション等で構成し、その時々のタイムリーなテーマを選定し、専門家が講師を担当するので、適当である。 |
| 中央シンポジウム（日測協） | 作業環境測定評価推進運動の一環として本部が企画して行う。特別講演、パネルデイスカッション等で構成し、その時々のタイムリーなテーマを選定し、専門家が講師を担当するので、適当である。 |
| 新任あるいは中堅作業環境測定士講習(α・β・γコース)（日測協本部） | 作業環境測定士として必要とされる知識を取得するため適当である。日測協本部が主催する標記講習は、生涯を通して一回限り評点を認めることとする。 |
| コンサルタント専門研修会（日本労働安全衛生コンサルタント会） | 日本労働安全衛生コンサルタント会が例年実施するコンサルタントのための「労働衛生研修会」。講師は専門家であり、また内容的にも適切と考えられる。 |
| 日測協のほか、日本労働安全衛生コンサルタント会、中央労働災害防止協会、都道府県産業保健推進センターその他の関連団体が主催するオキュペイショナルハイジーン分野の研修のうち、認定委員会の認定したもの（そのつど審査する） | 候補となる研修は、日測協が積極的に発掘に努めるほか、更新認定を目指す者は、適当と思われる研修会について評点の対象とする認定を、日測協に申請することができるものとする。認定申請が行われた場合は、日測協は原則として、認定委員会に意見を聞くものとする。 |
| AIHA等国外の研修機会 |
| 日本作業環境測定協会学術大会（旧名称：作業環境測定研究発表会）、日本労働衛生工学会、日本産業衛生学会 | いずれも歴史ある学術大会(研究発表会)や学会であり、適当である。 |
| IOHA、AIHA、その他認定委員会が認定する学会等 | 候補となる学会等は、日測協が積極的に発掘に努めるほか、更新認定を目指す者は、適当と思われる学会等について評点の対象とする認定を、日測協に申請することができるものとする。認定申請が行われた場合は、日測協は原則として、認定委員会に意見を聞くものとする。 |

 c)カテゴリーⅢの評点にかかわる学術雑誌等

「労働衛生工学」、「Industrial Health」におけるオキュペイショナルハイジーン分野の論文、「Journal of Occupational and Environmental Hygiene」、その他認定委員会が認定する学術雑誌等。

巻頭言、随筆、紹介文、座談会における発言等は対象とならない。

d)　カテゴリーⅣの口頭発表の評点にかかわる学会等

|  |  |
| --- | --- |
| 日本作業環境測定協会学術大会（旧名称：作業環境測定研究発表会）、日本労働衛生工学会、日本産業衛生学会 | いずれも歴史ある学術大会(研究発表会)や学会であり、適当である。 |
| IOHA、AIHA、その他認定委員会が認定する学会等 | 候補となる学会等は、日測協が積極的に発掘に努めるほか、更新認定を目指す者は、適当と思われる学会等について評点の対象とする認定を、日測協に申請することができるものとする。認定申請が行われた場合は、日測協は原則として、認定委員会に意見を聞くものとする。 |

e) カテゴリーⅤの講師を務めた際の評点にかかわる技術研修や学会等

|  |  |
| --- | --- |
| 技術研修（実施主体） | 評点の対象として選定する理由 |
| ブラッシュアップ講習（日測協） | 作業環境測定士を対象に、技術、法令等の変化にキャッチアップすることを目的として行う研修。特別講演、パネルデイスカッション等で構成し、その時々のタイムリーなテーマを選定し、専門家が講師を担当するので、適当である。 |
| 中央シンポジウム（日測協） | 作業環境測定評価推進運動の一環として本部が企画して行う。特別講演、パネルデイスカッション等で構成し、その時々のタイムリーなテーマを選定し、専門家が講師を担当するので、適当である。 |
| 新任あるいは中堅作業環境測定士講習(α・β・γコース)（日測協本部） | 作業環境測定士として必要とされる知識を取得するため適当である。 |
| コンサルタント専門研修会（日本労働安全衛生コンサルタント会） | 日本労働安全衛生コンサルタント会が例年実施するコンサルタントのための「労働衛生研修会」。講師は専門家であり、また内容的にも適切と考えられる。 |
| 日測協のほか、日本労働安全衛生コンサルタント会、中央労働災害防止協会、都道府県産業保健推進センターその他の関連団体が主催するオキュペイショナルハイジーン分野の研修のうち、認定委員会の認定したもの（そのつど審査する） | 候補となる研修は、日測協が積極的に発掘に努めるほか、更新認定を目指す者は、適当と思われる研修会について評点の対象とする認定を、日測協に申請することができるものとする。認定申請が行われた場合は、日測協は原則として、認定委員会に意見を聞くものとする。 |
| AIHA等国外の研修機会 |
| 日本作業環境測定協会学術大会（旧名称：作業環境測定研究発表会）、日本労働衛生工学会、日本産業衛生学会 | いずれも歴史ある学術大会(研究発表会)や学会であり、適当である。 |
| IOHA、AIHA、その他認定委員会が認定する学会等 | 候補となる学会等は、日測協が積極的に発掘に努めるほか、更新認定を目指す者は、適当と思われる学会等について評点の対象とする認定を、日測協に申請することができるものとする。認定申請が行われた場合は、日測協は原則として、認定委員会に意見を聞くものとする。 |

f)カテゴリーⅤの講師は、外部から講師を依頼されたものを対象とし、依頼状等それを証明できる書類を提出すること。

なお、社内教育等、自社やグループ会社等で実施される講習の講師は、カテゴリーⅠのオキュペイショナルハイジーン(労働衛生)分野における活動に該当する。(CIHの基準と同等とする。)

別紙Ⅰ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者氏名：

**カテゴリーⅠ**

**（オキュペイショナルハイジーン(労働衛生)分野における活動）**

**証明書**

オキュペイショナルハイジーン(労働衛生)分野において、上記の者が下記のとおり活動

(業務)を行ったことを証明します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 勤務先名称 | 業務内容 | 期　間 | 時　間 |
|  |  | 年　月～年　月 | 勤務時間(実働)：　　時間/日、　　日/週オキュペイショナルハイジーン分野における活動時間：　　時間/日、　　日/週 |
|  | 　 | 年　月～年　月 | 勤務時間(実働)：　　時間/日、　　日/週オキュペイショナルハイジーン分野における活動時間：　　時間/日、　　日/週 |
|  | 　 | 年　月～年　月 | 勤務時間(実働)：　　時間/日、　　日/週オキュペイショナルハイジーン分野における活動時間：　　時間/日、　　日/週 |
| 　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 事業場所在地 |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　事業場名称 |
| 事業所長氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話　　　　　　　　（　　　　　） |

別紙Ⅱ

　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者氏名：

**カテゴリーⅡ（講習会等への参加）**

**実績**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| № | 講習・学術集会等の名称 | 主催者 | 開催日 | 時間数 | カテゴリーⅡ評点（累計） |
|  | 　 |  | 　 | 時間 | 点　（　　　点） |
|  | 　 |  | 　 | 時間 | 点　（　　　点） |
|  | 　 |  | 　 | 時間 | 点　（　　　点） |
|  | 　 |  | 　 | 時間 | 点　（　　　点） |
|  | 　 |  | 　 | 時間 | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  | 時間 | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  | 時間 | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  | 時間 | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  | 時間 | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  | 時間 | 点　（　　　点） |

1. 実績の証明となる資料（研修記録等）及び講習等の内容を示す資料（カリキュラム等）をそれぞれ添付してください。
2. 時間数は休憩時間等を除く実時間で記入してください。
3. カテゴリーⅡの評点の最小単位は0.5点とし、それに満たない点数は繰り上げて記入してください。

（例1： 1.25点＝1.5点、 例2： 2.75点＝3.0点）

1. 書ききれない場合は、用紙をコピーして使用してください。

別紙Ⅲ

　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者氏名：

**カテゴリーⅢ（論文の掲載）**

**実績**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| № | 論文のタイトル | 学術雑誌等の名称発行日・巻数・ページ番号 | 発行者 | 論文の種類 | カテゴリーⅢ評点（累計） |
|  |  |  |  |  | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  |  | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  |  | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  |  | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  |  | 点　（　　　点） |

1. 実績の証明となる資料（論文掲載ページのコピー）を添付してください。
2. 論文の種類は、査読の有無、筆頭・共著者の別を記入してください。
3. 書ききれない場合は、用紙をコピーして使用してください。

別紙Ⅳ

　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者氏名：

**カテゴリーⅣ（口頭発表）**

**実績**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| № | 口頭発表のタイトル | 学術集会の名称 | 主催者 | 口頭発表日 | カテゴリーⅣ評点（累計） |
|  |  |  |  |  | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  |  | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  |  | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  |  | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  |  | 点　（　　　点） |

1. 実績の証明となる資料（口頭発表の要旨掲載ページのコピー）を添付してください。
2. 書ききれない場合は、用紙をコピーして使用してください。

別紙Ⅴ

　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者氏名：

**カテゴリーⅤ（講師）**

**実績**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| № | 講習・学術集会等の名称 | 主催者 | 実施日 | 時間数 | カテゴリーⅤ評点（累計） |
|  |  |  |  | 時間 | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  | 時間 | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  | 時間 | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  | 時間 | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  | 時間 | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  | 時間 | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  | 時間 | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  | 時間 | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  | 時間 | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  | 時間 | 点　（　　　点） |

1. 実績の証明となる資料（講師依頼状）及び講習等の内容を示す資料（カリキュラム等）をそれぞれ添付してください。
2. 時間数は休憩時間等を除く実時間で記入してください。
3. カテゴリーⅤの評点の最小単位は0.5点とし、それに満たない点数は繰り上げて記入してください。

（例1： 1.25点＝1.5点、 例2： 2.75点＝3.0点）

1. 書ききれない場合は、用紙をコピーして使用してください。

別紙Ⅵ

　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者氏名：

**カテゴリーⅥ（委員会への参画）**

**実績**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| № | 委員会の名称 | 内容 | 主催者 | 委員委嘱期間 | カテゴリーⅥ評点（累計） |
|  |  |  |  |  | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  |  | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  |  | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  |  | 点　（　　　点） |
|  |  |  |  |  | 点　（　　　点） |

1. 実績の証明となる資料（委員依頼状）を添付してください。
2. 書ききれない場合は、用紙をコピーして使用してください。